

陸前高田発

ドーム型野菜工場 閉鎖へ

陸前高田市米崎町の津波浸水地に国の補助金を活用して建設されたドーム型の野菜工場が、先月の台風で設備が故障したうに強風であおられて12



基のドーム全てが壊れたため、会社側が市に工場の閉鎖を伝えていたことが分かりました。運営する神奈川県

の「グランパファーム」は復旧に1億円以上かかることを理由にあげています。工場は水耕栽培によるレタスを2012年8月から地元のスーパーなどに出荷し、従業員24人を雇用していました。

(11/29 ニュースエコー)

釜石発

湾口防最後のケーソン設置

震災の津波で壊れた釜石港の湾口防波堤の復旧工事で最後のケーソン・巨大な鉄筋コンクリートの箱

が据え付けられました。工事は2012年から650億円の費用をかけて行われているものです。ケーソンは潮の流れを読み、



測量機器や水中カメラ、さらに空からドローンも使って正確な位置を確認しながら設置されました。総延長1960メートルの釜石港湾口防波堤は今後コンクリートの流し込みなどを行い来年3月の復旧完了を目指します。(11/29 ニュースエコー)

宮古発

室蘭市長フェリー就航で視察

来年6月22日の宮古市と北海道室蘭市の定期フェリー就航に向けて室蘭市の青山剛市長が宮古を

訪れ建設中のフェリーターミナルを視察しました。県が整備するフェリーターミナルは、7億5000万円をかけて藤原埠頭の南側にチケット売り場や待合室、売店などを備えた3階建ての建物が作られます。完成は来年3月の見込みです。(11/30 ニュースエコー)



釜石発

納骨施設の設置場所視察

身元が分からない震災犠牲者の遺骨を納める施設について、釜石市の納骨施設整備検討委員会の委員

を務める僧侶や民生委員など6人が建設場所の市内平田の墓地公園で担当者から説明を受けま



した。釜石市では身元が分からない9人の遺骨が市内の寺院に仮安置されています。この納骨施設は来年3月に完成の予定です。(12/5 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

みやこハーバーラジオの田澤紗綾さんが宮古観光文化交流協会主催の「浄土ヶ浜四季の写真コンテスト」について伝えてくれました。応募作品は今年の3月から来年2月の期間に浄土ヶ浜を撮影した未発表のもので、最優秀賞には旅行券5万円分が贈られます。詳しくは宮古観光文化交流協会のホームページ「宮古旅手帳」で確認できます。締め切りは来年の2月28日です。田澤さんは「どなたでも応募できますので、ぜひ浄土ヶ浜の写真を撮りに宮古市において下さい」と話していました。(11/29)

陸前高田

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今月10日に放送される「陸前高田災害FM開局6周年記念放送」について菅野陽子さんが伝えてくれました。この日は通常の番組に「なぞったべ陸前高田」という記念番組を織り交ぜながらの生放送で、いろいろなジャンルの方をスタジオに招くという事です。陸前高田災害エフエムは、東日本大震災大津波によって被災した方々のために防災・復旧・復興情報を提供するという目的で開局しました。菅野さんは「これまで各方面からの支援のお蔭で続けてこられました。これからも災害時や緊急時の放送はもちろんのこと、皆さんの期待に応えられるよう一層頑張っていきたい」と話していました。(12/6)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122